



培った技を地域で生かす ニュースポーツの達人!

山王小学校の体育館で毎月第2・4土曜日、地域みなさんがニュースポーツを楽しんでいます。体験教室を開くのは「メイトランド」代表の和泉さん。和泉さんは多賀城市民スポーツクラブや多賀モリ会などに携わっていたり、日本レクリエーション協会のインストラクター資格を取得するなど、スポーツの分野で活躍しています。その資格を生かして、家に閉じこもりがちな子どもたちに体を動かす楽しさを知ってもらおうと教室を始めました。「参加している子どもたちは来るたびに上達しているのが感じられ、やりがいがある」と、和泉さんは話しています。自分の資格や興味のあることを生かして開かれるこの教室は、子どもから大人まで幅広い年代の方が参加し、地域の世代間交流の場にもなっています。



9月に参加したみなさん。ニュースポーツを通してみんなが仲良くなりました。

「メイトランド」を主催する和泉さん。活動を始めて10年以上になります。

「いつもここに来るのが楽しい。何をやろうかワクワクする」
「子どもが地域の方と接する機会になっています」

活動日場所

毎月第2・4土曜日(お休みの日もあります) 山王小学校体育館にて
※山王小学校区の方に限らず誰でも参加できます!
次回(11月14日(土)、28日(土)) 10:00~11:30
【連絡先: メイトランド 和泉匡倫(まさみち)さん 電話: 368-9725】



ヒント from “たがさぽPress”

たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

空き店舗を地域の憩いの場に

2015年9月3日(木) 掲載

島根県雲南市中野地区の「笑んがわ市」。空き店舗を活用して週1回開かれる市には、住民のみなさんが集まって買い物やお茶飲み話を楽しみます。

ネットを通じて集める寄付の方法

2015年9月15日(火) 掲載

東日本大震災後に広がった「クラウドファンディング」。自分のプロジェクトをインターネットなどで紹介し、実現に向けて寄付を募ります。

参加者の手で磨き上げられるマイプラン

2015年9月25日(金) 掲載

仙南地区と気仙沼市の「地域づくり実践塾」が合同ゼミを開催。参加者が練った、地域をもっとおもしろくするアイデアが盛りだくさん。



たがさぽからのお知らせ

たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

出前いちから塾

たがさぽで毎回好評の「NPO いちから塾」。興味はあったけど日程が合わなかった方、団体としてNPOの勉強会をしたいという方に朗報! たがさぽスタッフが「NPO いちから塾」を出前します。日時、場所、内容などをご相談に応じますので、関心のある方はぜひお問合せください。

内容	NPOの言葉の意味や成り立ち、しくみの解説 具体的な活動事例の紹介など
時間	60分~90分程度
対象	NPO、企業、町内会・自治会、サークル、学校など お友達同士など少人数のグループでも可
費用	無料
問合せ	022-368-7745 (多賀城市市民活動サポートセンター)

“たがさぽPress”とは?



たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! *ケータイ、スマホからもご覧いただけます。





「あったらいいな」 形にしませんか?

9月25日(金)開催のたがさぼ講座『あったらいいな』の想いを叶える!ハッピーママサロン。仙台を中心に活動する「NPOママとシネマ実行委員会」代表の眞野美加さんと一緒に、参加をした子育て中のママたちが想いを実現する方法を探りました。

映画会のはじまりは、ママの一言から

「NPOママとシネマ実行委員会」は、子育て中に壁にぶつかっても元気になるようなママ目線のイベントを2007年から企画・運営しています。会のはじまりは、mixi(インターネット上で利用者同士が交流できるサービスのひとつ)の子育てコミュニティで、「子ども連れだと周囲に気兼ねして映画を観にいけない。それなら映画館を貸し切って上映会をしよう!」という話題が挙がったことがきっかけです。産休中で社会と関われる場所がほしいと考えていた眞野さんも、映画が好きだったことから仲間とともに行動を開始。映画館を巻き込んでの取り組みですが、はじまりは「貸切りってできますか?」という気軽な一本の電話からでした。

映画会を続けることで起きた、ママたちの変化

子どもを介したつながりをつくるのではなく、「子連れで行ける映画上映をしたい」という想いを通して人とつながることは、眞野さんにとって社会と関わる貴重な機会となりました。結婚して子どもがいると「妻」や「母親」という役割に徹してしまいがちですが、眞野さんたちは活動を通して多くのママに喜んでもらえたことから、自分たちが社会に認められていると感じました。また、はじめは参加者だったママの中には、後片付けを手伝ったり、おんぶひもで子どもを抱えながら活動するメンバーを見たことがきっかけで「私にもできることがあるかも!」と、次第に運営に関わってくれる人も出てきました。眞野さんたちが「映画を観たい」という気持ちから始めた活動ですが、気がつくと、周りのママたちのためにもなっていました。



子連れで行ける上映会。「泣いても騒いでもお互い様」という合言葉のもと、ママたちが安心して過ごせる場所となっています。

大事なのはまず「あったらいいな」を口に出すこと



講座での「あったらいいな」の話合いの様子。悩みの共有や解決に向けた情報交換などを行いました。

講座では眞野さんのお話のあとに、参加者がグループに分かれ、日頃感じる「あったらいいな」を話し合いました。話し合った内容の発表を聞き、眞野さんからは「想いは全て口に出すこと」「誰かに協力をお願いする時は、内容を具体的にすることが大切」などのアドバイスがありました。普段から子どものこと、家庭のことですぐ忙しいママ。無理をせずにそれぞれができることを分担しながらみんなで取り組んでいくことが「あったらいいな」を形にする秘訣です。

こんな「あったらいいな」
ができました!

- ・親子がゆっくりできる気軽なカフェ
- ・緊急時に1、2時間子どもを預けられる場所
- ・地域の情報が気軽に得られるフリーペーパーやホームページ

詳しくは
「たがさぼPress」をご覧ください

- 子育てママの「あったらいいな」を叶えるために
2015年10月4日(日)掲載
- ママサロン参加者へ行く「おそとであそぼうの会」
2015年10月9日(金)掲載

「NPOママとシネマ実行委員会」についてもっと知りたい方はこちらを! <http://blog.livedoor.jp/mamacinema/>



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぼ」ではツイッターもやってます。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぼ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>